

# 平成21年度 町長施政方針

3月号に引き続き、平成21年第1回奥出雲町定例議会の町長施政方針の中から、今年度計画している健康と福祉、学校教育と社会教育の推進、行財政運営等について、その概要を要約してお知らせします。



## 四、活力に満ちた健康と福祉の町づくり

『奥出雲町げんきプラン21』に基づき、全ての町民の皆様が生涯各時期にわたって健康で明るく生きがいを持って生活できるような、積極的に事業を進めます。

特に、各自治会の健康づくり推進員や、食生活改善推進員の皆さんとともに、それぞれの目標を設定し、研修会を開催するなど活動の推進を行います。

「奥出雲町福祉事務所」では、生活保護を中心とした生活支援業務のほか、高齢者福祉、障害者等の自立支援、母子・寡婦福祉の業務などを一元的に行い一層の機能充実を図ります。

「地域包括支援センター」では、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として予防に向けた事業の推進や相談業務等の充実に努めます。

また、完成したテレビ電話網を日常業務に積極的に活用することといたしております。

## 五、学校教育の充実と社会教育の推進

子育て支援  
町内保育所に入所する三歳児以上の幼児について、四月から月額保育料の上限を一万五千円に軽減しました。

また、今年度から全国の先駆的な施策として馬木保育所幼稚園を一体化し、引き続き幼保一元化を実施し、就学前の教育・保育環境の整備、充実を図ります。

## 五、学校教育の充実と社会教育の推進

このほか国、県の各種補助事業を積極的に導入し、子育て環境の充実に努めます。

学校教育については、今年一月に「学校再編基本計画検討委員会」から出された答申を尊重し、長期的な視野で関係機関・地域の皆さんと検討・協議を進め、学校再編について最善の方向を見出すことが喫緊の課題であります。

なお、施設整備については、平成二十年度の繰越事業として、横田中学校屋内運動場の大規模改修・耐震補強事業に着手し、亀高小学校の屋内運動場と校舎の改築についても、木造建築のモデルとなる設計



小学生の「たたら体験学習」(ケラ出しの様子)

とし、できるだけ町内産木材を使用する予定です。  
中学校では「家庭学習支援塾」をはじめ、放課後の小学生の学習支援、地域交流を主体とした「放課後子ども教室推進事業」も継続して取り組めます。

さらに、職場体験を中心としたキャリア教育や奥出雲町でしか実施できない「たたら体験学習」なども予定しています。

小学校及び中学校において特別な支援を必要とする児童生徒に対する介助や支援員の配置を継続拡充する考えです。また、学校司書等配置事業

今後、奥出雲町の状況は非常に厳しく、全国的に、医師、看護師の不足などにより、診療科の廃止や病院を縮小する動きが多発していますが、今後も医療スタッフの確保に努め、地域の中核病院として診療体制の維持・整備に努めて参ります。

なお、歯科診療については、三月末をもって閉鎖し、個人経営での歯科医院として同じ病院内で診療を行います。



奥出雲病院祭(救急蘇生法体験の様子)

今後、町職員給与額の目安である平成二十年度のラスパイルズ指数は、県下十三町村中下から五番目の水準で、昨年を二・一ポイント下回る八十九・六ポイントとなっております。

職員給与  
町長二十割、副町長・教育長十五割、来年三月までの間、課長級については五割、課長補佐級については四割、その他の職員については三割の給与カットを実施しています。

なお、職員給与額の目安である平成二十年度のラスパイルズ指数は、県下十三町村中下から五番目の水準で、昨年を二・一ポイント下回る八十九・六ポイントとなっております。

また、完成したテレビ電話網を日常業務に積極的に活用することといたしております。

三所地区において神楽社中が誕生し、四月十二日にはお披露目が行われました。今後も神話や歴史を後世へ伝えるすばらしい奥出雲神代神楽社中となるよう念願するものであります。

## 六、行財政運営

行政改革については、行政改革審議会の答申を受け、職員定数の管理・給与の適正化をはじめ、外郭団体の統廃合、消防団組織の見直し、第三セクターの経営体制の刷新、保育所の民営化、下水道料金の統一などに取組んで参りました。

今後、第三セクターの経営改善や幼稚園、小中学校の再編などの諸課題と、行政改革について実施・検討を進めます。

なお、三年前から県農業改良普及員に駐在いただいております。

を導入し、町内小中学校の学校図書室の更なる充実と児童生徒の読書意欲の向上を図ります。

幼稚園では、引き続き幼児教育の充実と子育て支援の充実に努めます。

また、六月二十一日には、第二十一回鳥根県スポーツレクリエーション(グラウンド・ゴルフ競技)、八月九日、四国四郡市総合体育大会が、十二月上旬には中四国中学生選抜剣道大会が本町で開催されます。

文化芸術の振興  
文化協会を中心とした各グループへの支援、文化の日を中心とした奥出雲町芸術文化祭の開催や各種演劇等を鑑賞するカルチャーバスの運行などの諸事業を積極的に行います。

また、神話の舞台であるここ奥出雲町には神楽社中がなごのため、合併後の新しい郷土芸能として、「奥出雲町神楽振興協議会」を立ち上げ、上